

おだがいさま

odagaisama

95号
令和3年
8月1日発行

みんなで砂浜クリーン作戦&シーグラスで工作づくり!



拾った貝殻を使ってフォトフレームが出来上がりました

海開き間近の6月26日(土)、鶴岡西部児童館と陽光児童館の共催行事「由良海岸でミニクリーン作戦と工作づくり」が行われました。この行事は小学生を対象に平成26年度から行っており、当初は貝殻やシーグラスを集めて工作を楽しむことを目的として企画したものでしたが、参加した子どもたちから「いっぱいゴミが落ちているね」との声があり、『自然に親しむ』ことと『ちょっとしたボランティア』のゴミ拾いを組み合わせ、現在の形になりました。

今回は20名が参加し、子どもたちは砂浜に落ちているビニールなどのゴミ拾いを行った後、きれいになった砂浜に散らばり、貝殻やシーグラスを見つけてはザルに入れて、オリジナルフォトフレームづくりに期待を膨らませている

様子でした。参加した子どもたちからは「普段見て気付かない小さいゴミが落ちていた」「自分で拾ったもので工作するのが楽しかった」などの感想が聞かれました。

市社協が運営する各児童館では、鶴岡の四季を感じられる自然体験行事を数多く企画していますので、是非参加してみてください!



砂浜クリーン作戦中です!

おだがいさまのまちづくり計画2020が完成しました!

平成27年度に策定した『おだがいさまのまちづくり計画2015』の計画期間5年が終了し、新たに『おだがいさまのまちづくり計画2020』が完成しました。

昨年度より本紙でもお伝えしてきましたとおり、策定にあたっては地域の皆さま、福祉活動団体や専門機関等の皆さまからいただいたご意見をもとに、策定委員会での協議を重ね策定を進めてきました。地域に住む一人ひとりが互いに助け合い、支え合える、誰もが暮らしやすい地域づくりを目指して計画を実施していきますので、地域の皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。



◆おだがいさまのまちづくり計画って何？

今年度策定した『おだがいさまのまちづくり計画2020』は、誰もが安心して暮らせる“おだがいさまのまちづくり”を基本理念に、地域福祉の推進を目的とした活動・行動計画です。地域の皆さんと一緒に、民間の立場からできる16の活動項目を掲げています。実施期間は令和3年度から令和7年度までの5年間で。

◆地域福祉って何？

公的な支援や制度によるサービスを受けている人のためだけではなく、地域の中で人と人とのつながりあいを大切に、互いに助けあう関係や仕組みをつくり、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるようにしていくことです。

計画の基本的な4つの視点に基づいた活動目標と具体的な活動項目についてご紹介します。

4つの視点

活動目標

16の活動項目

気づきあい



困っている人を見逃さない地域づくり

- (1) 困りごとを一人で抱えない
- (2) 福祉のこころを育てる

- ① 気軽に相談できる環境づくり
- ② 地域と共に考える相談支援体制づくり
- ③ 学校と連携した福祉教育の推進
- ④ 地域を基盤とした福祉教育の充実

つながりあい



人と人が出会い、つながりあえる場づくり

- (3) 身近な場所でつながる
- (4) 多様な資源や人をつなぐ

- ⑤ 小地域でのつどいの場、居場所づくり
- ⑥ 孤立しない、させない参加支援の促進
- ⑦ 新たな参加を生み出す住民活動の創出
- ⑧ 社会福祉法人・企業・NPO法人等の地域貢献活動の推進

支えあい



身近な地域でお互いに助けあえる関係づくり

- (5) 困りごとをみんなで考える
- (6) 日頃からの関わりあいを防災にいかす

- ⑨ 近隣でできる助けあいを考え、活動を進める
- ⑩ 困っている人を地域で支える仕組みづくり
- ⑪ 地域の力をいかした防災対策
- ⑫ 災害ボランティアの育成、関係団体との連携強化

認めあい



お互いの違いを認めあい、その人らしさを大切にする社会づくり

- (7) 一人ひとりの暮らしをまもる
- (8) 思いをつなぐ、未来へのチャレンジ

- ⑬ 権利擁護の普及啓発
- ⑭ 制度の狭間にいる人への支援の強化
- ⑮ 子ども・若者の社会参加と活躍の場づくり
- ⑯ 地域共生社会の実現を目指した基盤づくり

『おだがいさまのまちづくり計画2020』は鶴岡市社協ホームページにも掲載しています。ぜひご覧ください!

令和2年度 事業報告と決算報告

鶴岡市社協3計画（地域福祉活動計画、発展・強化計画、事業経営計画）第2期（平成28年度から令和2年度）の最終年度として、新型コロナウイルス感染予防対策に努めながら、それぞれに示された課題に対し取り組みました。

総括報告

地域福祉の推進を図ることを目的とする団体として、個別支援と地域づくりに継続して取り組みました。また、地域共生社会の実現に向けた取組における社会福祉協議会の役割を検討しました。
各施設において新型コロナウイルス感染予防対策に努め、また、感染症の影響で一時的に困窮した方への支援として、鶴岡市の補助金を受け緊急小口資金拡充支援資金貸付に取り組みました。

重点事業 ①

法人運営

- ・組織運営と組織体制の強化、組織統治（ガバナンス）の強化を更に進めるため、「発展・強化計画（第3期）」の策定作業に取り組みました。
- ・人材育成や労務管理体制の強化を図ることを目的に職員厚生課を新設しました。新型コロナウイルス感染症対策の統括管理体制を構築し対応できたことで、800人を超える職員・家族、利用者等の感染はありませんでした。
- ・狭隘になった事務局の移転計画案をまとめました。

重点事業 ②

地域福祉活動の推進

- ・「第3次地域福祉活動計画」の策定に取り組み、同時に鶴岡市で進めている地域包括ケア推進体制における社会福祉協議会の役割について検討しました。
※第3次地域福祉活動計画についてはp2参照
- ・各福祉センターにおいて、次期「地域支え合いプラン」の策定作業を進め、誰もが助け合いながら安心して生活ができる地域に向けて取り組みました。
- ・生活課題解決や孤立防止への支援体制の一層の強化を図るため、コミュニティソーシャルワーク機能の体制整備を進めました。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により「福祉のつどい」は中止しましたが、地域福祉活動などに功績顕著な2個人、7団体に対し表彰を行いました。

重点事業 ④

高齢者福祉、障がい者福祉事業

- ・事業経営に関する課題解決、方向性を示した「第三期事業経営計画」の策定作業に取り組みました。また、各事業の事業分析を行い、経営の効率化や安定化について職員が学ぶ機会を設け、経営意識の醸成を図りました。
- ・職員や利用者への新型コロナウイルス感染予防対策を周知徹底するとともに環境整備を進め、安心安全なサービス提供に努めました。

事務局移転に向けたスケジュール(予定) ※第94号から一部再掲

令和3年

3月30日 地域コミュニティスペースの活用を検討するため、鶴岡市、鶴岡市社協、山王まちづくり㈱三者による協定を締結

5月31日 旧鶴岡まちなかキネマ土地建物の売買契約締結

6月～10月頃 設計業務

令和4年

4月頃～9月頃 建物改修工事

10月頃 事務所移転作業

11月頃 新事務所稼働

重点事業 ③

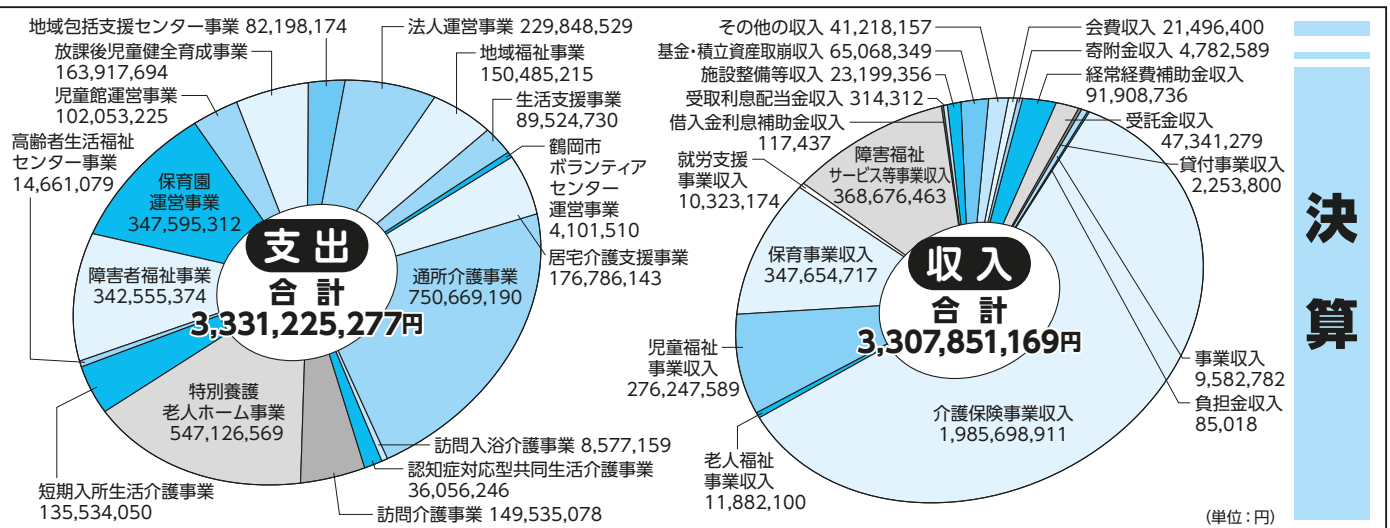
生活支援事業

- ・高齢者や障害のある方などが権利を侵害されることなくできるだけ長くご本人が望む生活を継続できるよう、成年後見制度の利用促進に取り組みました。新規受任では、法人後見運営委員会において委員からの助言等をいただきながら適正化を図りました。
- ・各相談支援機関からの紹介もあり日常生活自立支援事業の利用者は年々増加し、新規55件と過去最大の契約件数となりました。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響を受け、取扱いが拡大された生活福祉資金特例貸付及び鶴岡市独自の緊急小口資金拡充支援資金貸付事業について、関係機関等と連携しながら迅速な対応に努めました。

重点事業 ⑤

児童福祉事業

- ・保育所、児童館・学童保育所及び放課後児童クラブそれぞれの事業所間で情報共有し、新型コロナウイルス感染予防として保育環境や事業の見直しなどの対策を行いながら、安全安心な子育て環境づくりに努めました。
- ・SNSによる積極的な施設情報の発信により、児童館事業における利用者拡充を図りました。



決算

どなたでも大歓迎!

新海町町内会のラジオ体操

「おはようー」「今日も天気いいのぉ」と清々しい朝の挨拶。天気の良い日には、新海町公園でラジオ体操が始まります。このラジオ体操を始めたきっかけは、新海町の町内会長をはじめ町内会役員が、年々高齢化が進む町内会に危機感をいだいたことでした。

取材当日は、中学校の振替休日で中学生も参加し、三十数名が広々とした公園で体操をしていました。夏休みには小学生も加わるとのこと。

新海町ラジオ体操愛好会の代表者は語ります。「公園に集まることで顔見知りになる」「何かあったら声をかけあえる地域、ともに生きるまちづくりをしたい」「もし、災害があれば地域全体で助け合うことになる」と。

ラジオ体操を通してのまちづくり、皆さんも参加してみませんか。



情報掲示板

令和3年度「福祉のつどい」について

市民の皆様には鶴岡市社協が果たす役割とその活動を広く知っていただくとともに、地域住民・団体・関係者などの協働を呼びかける機会とすることを目的に、例年10月に開催していましたが、新型コロナウイルス感染症予防の観点からご来場者の健康面及び安全面を考慮し、昨年度に引き続き今年度も開催を中止させていただきます。

なお、福祉功労者への表彰式については年内に行う予定です。

生活福祉資金、緊急小口資金 拡充支援資金貸付

山形県社会福祉協議会生活福祉資金緊急小口資金・総合支援資金（初回貸付、再貸付）特例貸付及び、鶴岡市が実施する緊急小口資金拡充支援資金貸付の申込受付期間が8月31日まで延長されました。

ご相談・お問い合わせはお住いの福祉センター（下記参照）まで。

ご寄付ありがとうございました

みなさまのご厚志に心より御礼申し上げます
(令和3年5月1日から令和3年6月30日までのご寄付を掲載しています)

★一般社会福祉事業へ

◎鶴岡福祉センターへ
・(株)ベスト様 100,000円

◎羽黒福祉センターへ
・渡部 信子様 手作り造花2組

★鶴岡福祉センターへ
・PC・カンパニー様 Tシャツ319枚

★鶴岡市ボランティアセンターへ
・山形県退職公務員連盟鶴岡田川支部会様
タオル301枚

★地域福祉センターなえつへ

・小林 勇希様 3,450円

★鶴岡市高齢者福祉センターおおやまへ
・林 トシ子様 100,000円
・齋藤 三雄様 商品券5,000円分

★とよら老人デイサービスセンターへ
・水無なかよし会様
フェイスタオル4枚、ウェス1箱

★はちもり、とよら老人デイサービスセンターへ
・三瀬第二班 ほっこり会様
尿取りパット4袋、ウェス1箱

★鶴岡市ゆうあいプラザかたぐるまへ

・ぶつくすプロほんの森様
絵本2冊、辞典2冊

★もみじが丘へ
・イオン東北(株) 代表取締役社長 辻 雅信様
商品券132,800円分

★児童福祉事業へ
・国際ソロブチミスト鶴岡様 100,000円

★フードバンクへ
・共立社鶴岡生協様 食料・飲料品203点
・匿名様 精米60kg

おだがいさま

第95号
令和3年8月1日発行
発行部数 47,800部



編集・発行
社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会
鶴岡市泉町5番30号 (にこ♥ふる 2階)
TEL 0235-24-0053 FAX 0235-23-9110
ホームページ <https://www.shk01.jp/>

鶴岡福祉センター TEL 24-0053
藤島福祉センター TEL 64-3100
羽黒福祉センター TEL 62-4534
榎引福祉センター TEL 57-5300
朝日福祉センター TEL 53-2795
温海福祉センター TEL 43-2114



この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。